

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市会議員

発行：2023年3月19日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

桃山南学区で
まちかど演説

軍事費より暮らしの応援こそ必要！



3月12日は午前中に桃山南地域でまちかど演説会を5か所で開きました。公園前では「軍事費より子育て支援。桃山南口から京阪電車で通学する中学生の定期代を無料にしましょう。東山の小中一貫校では近くても市バスの定期代は無料です。小学校のような全員制の温かい給食を願う声が京都市を動かししました。絵に描いた餅だと言われた子どもの医療費助成制度も前進です。声を上げれば政治は必ず動きます。ご一緒に政治を動かしましょう」と訴えました。また、午後は本番リハーサルで醍醐地域を宣伝しました。「市長は毎年500億円の財源不足と言って市民を脅してきましたが、3月には財政は破綻しませんと言いました。それならば市営住宅の家賃減免制度の改悪を元に戻すべきです。また、敬老バス回数券の相談窓口設置で1億1300万円も使うのなら、敬老乗車証の負担を軽くすべきです」と訴えると、大受市営住宅では、何人もの方が出てきて最後まで聞いて下さいました。



みなさんの声をエネルギーに、議会で徹底論戦！！

京都市会は来年度予算に向けての局別審議を行いました。西野市議の主な質問要旨です。

都市計画局▶交通の便のいい場所にある市営団地の再整備計画は、戸数を減らし空いた土地を民間に売る計画です。戸数を減らすのではなく、自然エネルギーの取り入れや断熱効果の高いつくりにして、住みやすい市営住宅にすることを求めました。また、市営住宅の家賃減免制度が改悪され、これまで減免制度を利用していた人が申請できなくなったり、2026年には5倍の家賃になる人が出ます。くらしの大変な人への負担増の撤回を求めました。

保健福祉局▶来年に予定されている京都市の市民税独自減免の廃止は、これまで非課税だった世帯が課税世帯になる可能性があります。京都市の資料では経過措置が終われば、介護施設の入所費用が2倍になる世

帯や、高額療養費の限度額が8,000円から18,000円になる世帯も出ます。市は負担できない方は生活保護へ誘導すると言いますが、受けられなければ、介護難民・医療難民と言われる人が出ます。中止を求めました。共産党以外の議員は廃止に全員賛成しましたから、許せません。

教育委員会▶これまで何度も遠距離通学費の拡充を求めてきました。桃山南学区の中学生には適用されていません。歩けば1時間弱かかります。

その一方で、東山の小中一貫校では無料で市バス定期券が発行されていますから、同じ京都市内の中学生には、通学定期代を無償にすべきと求めました。



醍醐キャンドル2023

東日本大震災の復興と平和、地域のきずなを願う「醍醐キャンドル」が今年も実施されました。今年は日曜日という事もあったのか、100人以上の方々が参加され、にぎやかに準備が進められました。ただ、ローソクの火はつけてもつけても風に消されて、いつものような浮かび上がるキャンドルの灯を見ることが出来なかったのは残念です。



困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時
まずはお電話ください！！

☎621-6717